

CSR/サステナビリティレポート

ESG投資やSDGsの開示に対応する

凸版印刷株式会社

トッパン エディトリアル コミュニケーションズ株式会社

CSR/サステナビリティを取り巻く環境

新疆ウイグル問題：仏検察はなぜ [] や [] を捜査したのか

ホンダ新社長が会見で「2040年にはEVとFCEV」100%の目標を発表

これ、全部CSR/サステナビリティの関連事項です！

新型コロナウイルスによる当社への影響と

Woven Cityプロジェクト本格始動

ご仲間とともに、幸せがあふれる街づくりに挑戦します。



2021年5月10日更新：ENEOSとトヨタは、Woven Cityでの水素エネルギー利用用について具体的な検討を進めることに基本合意しました。

日本生命がすべての投融資にESG評価へ

政府、30年度の温室効果ガス削減目標を46%に引き上げ – 従来26%

2050年カーボンニュートラルに係る国内の動向①

● 本年10月26日、第203回臨時国会において、菅総理より「2050年カーボンニュートラル社会の実現を目指す」ことが宣言された。

国会における菅内閣総理大臣所信表明演説】（令和2年10月26日）〈抜粋〉

成長戦略の柱に「経済と環境の両立」を掲げ、2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

我が国は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

鍵となるのは、産業構造の転換が必要です。

国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組む必要があります。

政府は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

我が国は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組む必要があります。

政府は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

我が国は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組む必要があります。

政府は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

我が国は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組む必要があります。

政府は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

我が国は、2050年までにカーボンニュートラル社会を実現することを宣言し、すなわち2050年カーボンニュートラル社会の実現に最大限の注力をしてまいります。

国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組む必要があります。

CSR/サステナビリティは、企業価値向上の重要ツール

●年に1度の報告ツールですが、実は、財務諸表に出てこない企業価値の判断情報が満載！
今や報告書ではなく、重要なコミュニケーションツール。

- ・ CO₂削減の世界的な要求、日本政府の厳しい削減目標に対する企業の取り組みを説明
- ・ 海洋（マイクロ）プラスチック削減の世界的な要求、日本の海を守る活動を説明
- ・ 基本的人権尊重、多様性順守の世界的な要求への対応を説明 など

非財務でのリスクの把握と、将来への対応を説明するためのツールで、以前は環境保護関連、人権保護関連のNPOやNGO、地域などのステークホルダーの関心が高かったが、
今や株主・投資家（国内・海外、個人・機関）、株式格付け機関やアナリストが重要視する
ツールに

届いていますか？ 企業の思い。評価されていますか？ 取り組み活動。
だからこそ、今、CSR/サステナビリティレポート（開示）を今一度見直す必要が！

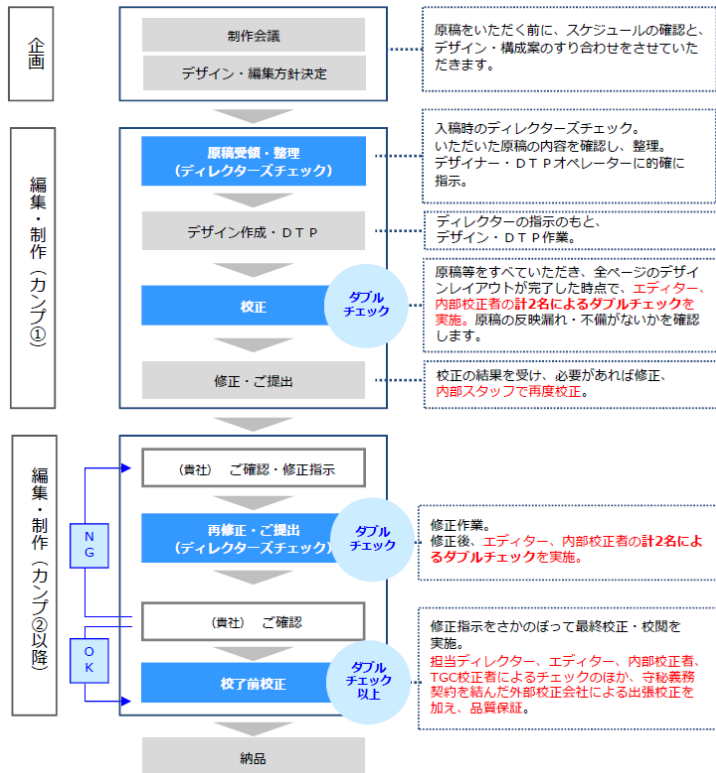
最新トレンド・ガイドラインを熟知、企画からアウトプットまで一気通貫で

CSR/サステナビリティの開示には、国内外の指標となるガイドラインの理解が必要です。

GRIスタンダード、環境報告書作成ガイドライン、ISO26000、TCFD、グローバル・コンパクト、SDGS・・・

得意先と同等以上の知識レベルでの打ち合わせが可能です。

徹底的なルール化・効率化、校正機能を核とした制作フローにより、スピーディーなサービスと品質事故の未発生を実現します。とりわけ、重厚な校正・校閲体制によるミス撲滅を実現します。



TOPPAN

| **TOPPAN** |
| **EDITORIAL** |
| COMMUNICATIONS |